第４回富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会
議事録

〔 日時 〕2015 年 9 月 11 日（金）13:00～14:40
〔 場所 〕富里中央公民館 2 階　研修室（大）

■　出席者（順不同、敬称略）

（座長）	富里市商工会	寒郡 茂樹
（委員）	富里市区長会	沖田 健二
	富里市農業協同組合	根本 実
	千葉県立富里高等学校	加藤 寿子
	千葉銀行	長谷川 浩一
	富里市体育協会	坂田 啓一
	協働のまちづくり、千葉県男女共同参画地域推進員	高木菜穂子
	成田国際空港株式会社執行役員 共生・用地部門地域共生部長	岩澤 弘
		（代理出席：小山田龍男）

（事務局）　富里市総務部　総務部長、企画課長、企画課事務局
（株）三菱総合研究所・森崎・樋口

■配布資料

- 資料１：富里市人口ビジョン（案）　人口動向分析
- 資料２：富里市　まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

1.　開会

2.　あいさつ

- 寒郡座長より、あいさつがなされた。

3.　議題

(1)　富里市人口ビジョン（案）及び富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について　（資料１、２）
(2)　その他

＜資料１、２に基づき、富里市人口ビジョン（案）及び富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について事務局より説明＞

寒郡座長：

・ 我々の意見を提言書として市長に提示する。本会議で各委員のご意見を伺ったうえで、提言書のまとめについては座長一任としたいがよろしいか。

各委員：

・ 良い。

高木委員：

・ このような会議に出席できれば、富里市が目標としていることや富里市の動きを目にする機会がある。一方で、一般市民から富里市が取り組んでいることは見えにくい。
・ 人口ビジョン及び総合戦略の策定について、回覧板や広報誌で一度拝見した記憶はあるが、そのような書面を見ない限り、富里市の方向性や各取組の達成状況はあまり分からない。
・ 全体が総花的になっているため、目玉となる施策があればと良いと考えていたが、全市民を対象とすると性別や年代等が異なっているため、このような形になることは仕方がないと考えている。ただし、ある年代が本当に満足しているかについて意識する必要がある。
・ 基本目標③の数値目標は、イベント等の回数の達成状況ではなく、満足度が確実に向上しているかの把握が重要ではないか。
・ 例えば、後継者の出会いの場づくりの目標値が掲げられているが、実施した回数に対する成婚率はわからない。回数が増えれば成婚率が高くなるわけではなく、満足度が上がらなければ目標が達成されたとは言えないのではないか。
・ 総合戦略見直しにあたってのチェックは市民も行うのか。

事務局：

・ 産官学金労言のご意見等も踏まえながら、見直していく予定である。今後の明確な進め方は現時点では定まっていないが、様々な方のご意見を伺いながら PDCA を回し見直していく予定である。
・ また、満足度について、例えば出会いの場づくりを進めながら、数値目標の婚姻数の上昇に結びつけていきたい。

沖田委員：

・ 4 つの基本目標のうち、基本目標①は今後富里市が発展するための一番の要である。
・ これまで取り組んできた農業に力を入れながら、成田空港に関連した取組みも重要であると考えている。

・ そのような視点を踏まえ、高齢者が継続して働ける仕組みを作ってほしい。そのノウハウは既に持っており、対応できる土俵は構築できていると考えている。

坂田委員：
・ 総合戦略は、概ね「平ら」なところで策定している印象を持っている。今後 5 年間が対象期間となっているが、このような多くの施策に取り組んでいくことができるのか。
・ 15 町歩の活用について、先日市長から活用方針を検討すると聞いている。具体的な対応について検討を進めていけば良い。

根本委員：
・ 新規就農者の目標値として 50 名と掲げられているが、現状で毎年 10 名程度増加しており、この目標値ではあまり進歩していないように感じる。夢を描きすぎてもいけないが、夢を持った現実的な目標値を掲げても良いのではないか。夫婦で就農すれば 2 名新規就農とカウントするといった視点も踏まえ、目標値を 60 名程度に設定できないか。
・ また、新規就農を促進するためには、子どもの頃から農業に対して関心を持ってもらうことが重要である。そのため、子どもの育て方についても考えていくことが重要であろう。
・ 結婚に関する目標値について、現在、出会いの場づくりのイベントを開催しているが、実際は結婚にまで結びついていない。イベントを開催しても結婚まで結びつかなければ意味がない。例えば、成婚した場合はお祝い金が出る等の取組みも考えられるのではないか。
・ にんじんウォークについて、毎年 10 名の増加を目標として掲げているが、現在は運営面で参加人数制限をしているところであるため、その制限をなくすことでさらに参加者を増やすことができるのではないか。
・ 決まった数字や既に実施している取組みを目標として掲げているようなイメージがある。
・ 富里市は海抜が高く、山もないため、災害が起こりにくい地域である。一方で、今後地震等の災害が発生した際の対策は立てられているのか。防災・防犯メール登録者数が目標として設定されているが、スマートフォンの保有率の高さや、いざという時に詳細情報を得られる点を踏まえると、もう少し高い目標値を掲げても良いのではないか。また、位置情報を活用して、スマートフォンにプッシュ型で情報を通知する仕組みもある。そういった仕組みの活用も考えられるのではないか。

事務局：
・ 目標値について、委員のご意見を踏まえ担当課と検討する。

寒郡座長：
・ 各委員のご意見を踏まえ、全体的に担当課とよく相談すること。

加藤委員：
・ 4 つの基本目標は分かりやすく、各戦略がうまく進んでほしい。
・ 昨日の大雨による災害を心配していたが、富里市は土砂崩れもなく安全な土地であることが改めてわかった。このような安全な土地であることを、富里市の魅力として情報発信できれば良い。
・ 富里高校では、これまでにも地域と様々な連携を行っており、また、地域からも期待されている。地域との交流を通して生徒が成長している点についても、これまでの有識者懇談会で伝えてきたところである。
・ サマースクールの支援や指導者がいない小学校の金管クラブへの教師派遣等も行っている。このような高校生が役立てる場があれば、引き続き支援していきたい。
・ 最近では、高校生の子育てサロンの企画を地域の社会福祉協議会と企画しているところである。高校生の子供に対する興味関心は非常に低いが、実際に赤ちゃんや幸せそうなお母さんと触れ合うと結婚や出産に対するイメージが変わるようである。今は社会福祉協議会と連携しているが、さらに行政を含めた様々な機関との交流の促進を図りたい。
・ 総合計画にある「まちづくりのサポーターの輩出」とはどのようなイメージか。富里高校の生徒を対象として考えているか。

事務局：
・ 「まちづくりのサポーターの輩出」は、市民を対象として考えている。
・ 「富里高校との連携事業数」については、企画課として現在の事業数を把握しきれていないため、担当課に確認しているところである。その実績値を踏まえ、目標値を設定する予定である。

小山田代理委員：
・ 成田空港に近接していることが富里市の大きな特徴として挙げられているが、この特徴は活用できると考えらえる。
・ 例えば平成 27 年 4 月に第 3 ターミナルのレストランが新設されたが、これらの店舗は朝早くから開店しているため、遠方からの通勤は難しく、近隣に居住するニーズがあると考えられる。
・ 現状、富里市からは 2,700 名程度の方に勤務いただいているが、この人数はこの数年間でそれほど大きく増えていないと思われる。一方で、鉄道沿線の開発が進んでおり、それらの新しいまちから通っている人が多いような印象を持っている。空港勤務者の視点では、交通の便の良い地域から空港に勤務できると良いというニーズがあるため、

これらに対応することも方向性として、考えらえるのではないか。

- 「海外からの訪日観光客を意識した振興施策や地域ブランド発信」について、最近では毎月 100 万人の外国人が成田空港を利用している。多くの外国人旅客が都内に向かっていることが現状ではあるが、成田駅東口のホテル等に宿泊される外国人旅客も多くいる。例えば、成田に到着後、一泊したうえで翌日から観光に向かう、あるいは帰国の直前に成田近辺に宿泊して出発する人も多く、このようなお客様をターゲットとして、富里市の特産物を上手く組み合わせてアピールしていけば良いのではないか。
- 訪日外国人は、トリップアドバイザーや SNS といった新しい情報媒体を利用しているようである。そのような情報媒体を活用したダイレクトな情報提供も有効ではないか。

長谷川委員：

- 人口ビジョンや総合戦略の策定後は、市民への周知や PR をきちんと実施していただきたい。役所まで来ると様々な情報を入手できるが、市民の手元には情報があまりない。ぜひ確実な周知を行っていただきたい。
- 「活力を呼び込み、活気ある商工業の振興」の各施策は、ぜひ取り組んでいただきたい。空港と近接していること、高速道路やインター等にも近いため、様々な産業の振興が期待できる地域と考えている。活用には制約が多い土地とも思われるが、積極的に各施策に取り組んでいただきたい。
- また、「中小企業資金融資件数」は、予算との関係もあると思われるが、活用しやすい制度を構築してほしい目標値の 50 件は少ないように考えている。銀行としても PR 活動等に協力していきたい。

寒郡座長：

- 人口ビジョンの「人口の将来展望」について、現在の約 5 万人から約 4 万人になるということは、人口規模が縮小するということを意味する。一方で、例えば、成田空港第三滑走路の新設や第三工業団地の開発が進んだ場合、それに伴う人口増加も見込めると思われる。その状況に対していかに対応していくかを検討する必要があるのではないか。
- 具体的には市街化区域等の区分けの再検討も必要になってくるのではないか。
- 第三滑走路、第三工業団地、圏央道の開発に伴う人口増加は提言の中に組み込んでいきたく、また、都市計画も含めた検討の必要性については、総合戦略に組み込んでいただきたいと考えている。
- 減少する人口の将来展望を示すことで、より良い方向性があるのに対応できないという可能性が高い。
- このほかにも提言書として取りまとめていきたいと考えているため、ご意見があればいただきたい。

沖田委員：

・ 周辺自治体には警察があるが、富里市にはない。警察と消防と行政が動かない限り、防犯はできない。今は成田警察の中に富里市と栄町が組み込まれているが、富里市独自の警察ができれば雰囲気も変わると思われる。境界がいびつになっている等、防犯の役割分担等も難しくなっている。

長谷川委員：

・ 振り込め詐欺防止のため、高齢者が 300 万円以上引き出す場合は、すぐに警察に連絡することになっている。七栄交番に誰もいない場合は成田警察に連絡するが、到着までに時間がかかるため、お客様との間でトラブルに発展してしまうこともある。今の話を伺い、富里市に警察がないことの影響があると感じた。

小山田代理委員：

・ 成田空港第三滑走路については、これから議論が始まるところでございますので、座長にはご理解をいただきたいと存じます。

寒郡座長：

・ 富里市として、発着回数 45 万回を達成した場合の対応を考えておく必要がある。可能性を見越した対策を考えておく必要があるのではないか。そのような意味で提言に組み込んでおきたいと考えている。

根本委員：

・ 富里市に転入したい場合でも、今は転入する先の土地がない。その点を踏まえ、都市計画を検討しておく必要があるのではないか。例えば、中古物件等の紹介ができるような仕組みを考えておく必要があるのではないか。
・ 自分の娘が赤ちゃんに触れあう機会を経て考え方が変わった。富里高校の子育てサロンの取組みは実施していってほしい。
・ 最近では宿泊施設やバス不足が問題となっているが、富里市は成田空港に近接しているが、付随した取組みはあまりないように思う。市としての取組みを考えていく必要があるのではないか。
・ 将来人口の展望として、千葉県全体で人口が増加する展望を示しているのは成田市のみである。人口減少を前提とすると合併等の議論も生じると思われる。

寒郡座長：

・ 今後、人口が増加するポテンシャルを持っている点を踏まえた将来展望も必要ではないか。

高木委員：

- 富里市に今住んでいる人が転出しないことを大前提として、魅力があり新しく転入してもらえるような取組みが必要である。
- 学校教育、学び直しができる環境といった生涯学習が非常に大切である。就職に有利な英語や中国語等を学びなおすことができる、すぐさまビジネスで使えるような学びの場が富里市にあると非常に安心できるのではないか。今は、高校生以上の人を支える部分が少し不十分ではないか。
- きょうざん塾は、会場が福祉センター等 3 ヶ所で実施されているが、小学校区や集会所別に 1 ヶ所ずつあるとさらに良い。
- 防災について、災害が発生した際の富里市の生命線は道路であると考えている。一方で農道が多く狭い箇所が多いため、東日本大震災が発生した時は渋滞が発生していた。そのような場合においては一般市民の協力をあおぐ必要があり、常日頃から災害を考え、対策やシミュレーションを実施しておく必要があるのではないか。例えば、救命救急講習の推進など、二十歳に講習を受けるといった取組みがあると、徐々に受講者が増加することになる。
- 15 町歩の土地について、子どもたちが自然と関われるような宿泊施設があると良い。稲作体験等もあるが、植える時と刈る時のみの体験となっており、その間の大変な機関は抜けてしまっている。宿泊しながらであれば、その大変な部分も学ぶことができるのではないか。大人も農業研修とまではいかなくても、農業体験ができると良い。そのような学びの場があれば、他自治体からも人を呼び込むことができるのではないか。

坂田委員：

- 富里市の土地活用の線引きは昭和 54 年度に決定されたものである。20 年前に変更を求めて富里市から千葉県に変更の要望を提出したが、市街化区域が空いていることを理由に取り下げられたと聞いたことを記憶している。当時決定した結果が今でも続いており、現在では使いにくい線引きとなっている。より使いやすいように変更する必要があるのではないか。
- 市民意識調査や転入・転出アンケートでは、交通が不便という意見が多かった。具体的に空港とのアクセス、成田駅、酒々井駅とのアクセスの充実化を図っていただきたい。
- 15 町歩の土地も市街化調整区域であるため、許可なく新たな建物を建設することは難しい。この機会を活かして、土地活用についてもしっかり富里市の方で検討していただきたい。

寒郡座長：

- 各委員からのご意見を提言書として取りまとめる。

4. その他

事務局

・ 次回懇談会は来年の 3 月頃に実施予定である。

5. 閉会

以上